

スーパーカブ C125はタイの二輪開発部門であるHonda R&D サウスイーストアジアカンパニー・リミテッドで開発、同じくタイのタイホンダマニュファクチャリングカンパニー・リミテッドが生産を担当しています。

スーパーカブ C125は、歴代スーパーカブシリーズ同様、“原点”となる普遍的な車体パッケージング、また「世界的視野」のもと“発展”したゆえの成果である性能の進化を反映させたグローバルモデルとして開発しました。

スーパーカブ C125のねらいは

現代の「豊かな生活」との調和 Personal Commuter for Global “NICEST LIFE”

初代モデルスーパーカブ C100以来、継承進化してきた基本性能の高さをベースに、現代の都市交通環境やライフスタイルとの調和を図った上質なパーソナルコミューターとしての姿を今一度見つめ直し、最新の技術手段による美しい形と走りに託しました。

自分らしいスタイルを大切にする、物選びに妥協しない本物指向の世界中のお客様に向け、その豊かな現代生活の中で、改めてスーパーカブの持つ価値を体感していただきたいという想いです。

この実現のために、各技術領域においては以下をテーマに取り組んできました。

- ・**スタイリング** …古びることのない「スーパーカブデザイン＝普遍性」を所有する、という価値観の表現
- ・**走り** ……運動性能と動力性能の両面から、快適性とゆとりのさらなる向上
- ・**装備** ……Honda独創のコミューターに、より上質感を提供する最新装備

スーパーカブ C125の開発には、まさに「世界一でなければ日本一とは言えない」という気持ちで取り組んできました。そしてそれがスーパーカブ誕生60周年となる年に、再び世界のお客様に役立ち、生活が笑顔で満たされることに少しでも貢献できれば、開発者としてこれ以上の誇りと喜びはありません。

■スーパーカブ C125の背景と開発のねらい

